

令和6年度 青少年赤十字

「詩・100文字提案」作品募集のお知らせ



募集作品

◇ 詩

○ 「いのちの詩・愛の詩」(JRC実践目標「健康・安全」)

「いのち」はかけがいのないもの、大切なものです。そのことを実感することができるように、皆さんが「いのち」に感動したこと、「いのち」に向けた素直な願いや行いを詩に表現してみましょう。心地よいリズムで心に響く「いのちの詩・愛の詩」をお待ちしています。

◇ わたしの100文字提案

次のテーマから一つ選んでいただき、100文字の提案として、短いけれど自分の考えをしっかりと表現した作品を募集いたします。

○ 「わたしがだれかのためにできること」(JRC実践目標「奉仕」)

周りの人や社会のために、自分から進んで行動しようとする気持ちが大切です。それには、まず、何が必要とされているのかを注意深く探ってみましょう。あなたが気づいたことは何ですか。どんなことができそうですか。よりよい未来をつくるための一歩、やってみようと思ったこと、すでにやり始めていることなどを100文字にまとめてみましょう。

○ 【小・中学生】「世界の見知らぬ友へ」(JRC実践目標「国際理解・親善」)

世界には、まだ会ったこともない人たちがたくさん暮らしています。でも、本で調べたり、テレビをみたりして出会い、「一緒に遊んでみたいな」「話を聞いてみたいな」と思ったり、「力をかしてあげられないかな」「励ましてあげたいな」と考えたりすることがあるでしょう。そんなメッセージを100文字にまとめ、身近に感じた人への気持ちを深めていきましょう。

○ 【高校生】「世界の問題についての私の提案」(JRC実践目標「国際理解・親善」)

世界には、人々を苦しめたり、地球環境を崩壊させたりする様々な問題があります。それらの問題を解決するために、自分の考えを100文字にまとめて伝え、共感を広げましょう。

○ 「夢をかなえるために」(JRC態度目標「気づき、考え、実行する」)

一人一人が自分の夢をもち、実現しようと励むことが、自分はもちろん、自分を取り巻く人たち、ひいては、社会全体の喜びと信頼につながっていきます。みなさんは、今、どんな夢をもち挑戦していますか。夢の実現に向けて考えていること、がんばっていることについて100文字にまとめてみましょう。

- | | | |
|------|-------------|-----------------|
| ◇ 主催 | 日本赤十字社福島県支部 | 青少年赤十字福島県指導者協議会 |
| ◇ 後援 | 福島県教育委員会 | 福島県小学校長会 |
| | 福島県中学校長会 | 福島県高等学校長協会 |
| | 福島県PTA連合会 | 福島県青少年赤十字賛助奉仕団 |
| | 福島民報社 | 福島民友新聞社 |

先生方へ

「詩・100文字提案」作品の応募にあたって



～ 子どもたちが、日ごろの学びを基にしてテーマと向き合い、よきよき明日をつくっていくために～

道徳科の授業で自分が考えたことを基にしながら

生活科や総合的な学習の時間などでの体験を生かして

毎日書いている日記から選んで

1 原稿用紙の使い方

原稿用紙は、「詩」（10行）と「100文字提案」（10マス×10行）用の2種類があります。送付したものを複写してご使用ください。その際、下記の点に留意してお使いください。

(1) 「いのちの詩・愛の詩」の部門

- 「改行」等を工夫し、原稿用紙1枚10行以内で表現してください。
- 数行増えた場合（+2行以内）は、原稿用紙を2枚使ってください。作品提出時に、その2枚の原稿用紙をホチキスで留めて提出してください。

(2) 「わたしの100文字提案」の部門

- 原稿用紙1枚（100文字程度・±20文字）で表現してください。
- 100文字を越える場合（+20文字以内）は、原稿用紙を2枚使ってください。作品提出時に、その2枚の原稿用紙をホチキスで留めてください。

2 応募制限 一人1点です。

3 応募名簿の添付

各学校で、「応募者名一覧」（学級名簿でも可）を添付してください。

4 作品集を作成するにあたって

これまでの作品集に掲載した「作品審査を終えて」を参考にしてください。また、誤字脱字等がないように、ぜひ担当の先生の「指導の目」を入れて応募して下さるよう、また、氏名は正式文字（漢字をひらがなにしない）でお願いいたします。

5 応募期間(4月から受付けています)

令和6年9月6日（金）必着です。

6 作品送付先 日本赤十字社福島県支部組織振興課内 青少年赤十字担当（下に記した担当まで）

7 作品の奨励

- 以下の区分で表彰します。
 - ・日本赤十字社福島県支部長（県知事）賞
 - ・青少年赤十字福島県指導者協議会長賞
 - ・福島県青少年赤十字賛助奉仕団委員長賞
 - ・優秀賞
 - ・佳作
 - ・入選
 - ・学校賞
 - ・学校奨励賞
- 優秀な作品の多い学校や継続して応募している学校を「学校賞」「学校奨励賞」として表彰します。また、後日、優秀な作品を「作品集」にしてお届けします。
- 応募者には参加賞を差し上げます。

8 その他

- 出品される作品には、子どもたちの温かな心が表現されています。出品される前にぜひ目を通して、子どもたちが何を考え、どんなことをしようとしているのかを把握し、日頃の指導に生かしていただければ幸いです。
- 応募した作品の著作権は、日本赤十字社福島県支部に帰属します。また、応募いただいた作品の原稿はお返しいたしませんので、ご了承ください。

【担当】 日本赤十字社福島県支部 組織振興課青少年赤十字担当 大内 雅之 菅野勇一郎
〒960-1197 福島市永井川字北原田17
Tel 024-545-7998 Fax 024-545-7924



青少年赤十字の実践目標と態度目標

青少年赤十字は、児童・生徒が赤十字の精神（人道：やさしさと思いやり）に基づき、世界の平和と人類の福祉に貢献できるよう、日常生活の中での実践活動を通じて、いのちと健康を大切に、地域社会や世界のために奉仕し、世界の人々との友好親善の精神を育成することを目的として、様々な活動を学校教育の中で展開しています。

◇ 実践目標



<健康・安全>

いのちと健康を大切にする

人間の生命は最も大事なものです。その生命を守るために、自分のいのちと健康を大切にするとともに、みんなの健康を守り、人間尊重の精神を養うことを目指します。



<奉仕>

人間として社会のため、人のためにつくす責任を自覚し、実行する

私たちは、たった一人で生きているのではなく、社会の一員として生きています。自分が今、他者のために何ができるかを考え、できることから実行していきます。



<国際理解・親善>

広く世界の青少年を知り、仲良く助け合う精神を養う

私たちは、いつも世界の国々とのつながりの中で生活しています。外国の人々やその国のことについて正しく理解し、交流を深めることは大変重要なことです。それは自分自身を知ることにもつながります。このような積み重ねが、世界の平和の実現を目指していくことにつながります。

◇ 態度目標 「気づき、考え、実行する」



子どもたちが「注意深い生活」を心がける習慣を養うとともに、自ら自分の生活または社会のニーズに「気づき」



その原因と解決のための道筋や方法を「考える」



問題解決のための具体的な活動を「実行する」

《いのちの詩・愛の詩》

() 小・中・高等学校

() 学年 名前

()

Blank writing area with vertical lines.



《いのちの詩・愛の詩》

() 小・中・高等学校

() 学年 名前

()

Blank writing area with vertical lines.

